

学校教育の方針

1 校訓

明るく なかよく がんばる子

2 学校教育目標

「自己の可能性を伸ばし、共生社会の一員として明るく強く生きる児童生徒の育成」

【健康を保持する力】 健康的な体を保ち自分の生活を豊かに創りだそうとする児童生徒

【見通し・課題をもつ力】 目当てをもち自分の力を発揮して主体的に学ぼうとする児童生徒

【見聞きし、考える力】 学んだことを自分なりの方法を工夫して表現しようとする児童生徒

【集団の中で生きる力】 人とつながることに喜びを感じ進んで働きかけていこうとする児童生徒

3 本年度の重点目標

進んで人と関わり、思いや考えを伝えようと働きかける子供

～多様な表現方法を工夫したコミュニケーション能力の向上をめざして～

4 学校運営の方針

(1) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

(2) 安全・安心な学校生活に向けた校内体制づくり

(3) 特別支援学校としての専門性の向上

(4) 自立と社会参加に向けた教育の推進

(5) 開かれた学校づくり

5 重点方策

(1) 個別の指導計画を活用した一人一人の実態に応じた指導・支援の充実

(2) 児童生徒の主体的、対話的な学びを促す指導・支援の充実

6 研究主題

児童生徒の資質・能力を育む教科指導の在り方

一人一人の学習目標達成のための学習評価と指導・支援の工夫

本校の特徴

- 本校は、肢体不自由のある児童生徒が学ぶ学校で、小学部と中学部を設置し、富山県立高志支援学校高等部こまどり分教室が併設されています。
- 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づいた指導・支援を行っています。
- 児童生徒は、近くの高岡市きずな子ども発達支援センターで、機能訓練に関する指導を受けています。
- 給食は、実態に応じた数種類の食事形態を準備しています。
- 看護職員による医療的ケアを行っています。
- 児童生徒は、高岡市及び隣接する市から保護者の送迎やスクールバスを利用して通学しています。
- 高岡市内の小・中学校との学校間交流活動、児童生徒が居住する小・中学校との居住地校交流、近隣の4自治会との地域交流活動を行い、積極的な社会参加に努めています。
- 特別支援教育コーディネーターが、地域の幼・保・小・中学校を訪問し教育相談を行っています。

沿革の概要

昭和33年	6月	3日	高岡市民病院内に成美小・志貴野中肢体不自由児「こまどり学級」開級
43年	4月	1日	高岡市立「こまどり養護学校」開校
51年	4月	1日	富山県立富山養護学校高等部分学級新設
54年	12月	19日	校舎落成 入校式
56年	5月	11日	校舎、体育室竣工式
58年	4月	1日	富山県立高志養護学校高等部こまどり分教室開設
平成8年	5月	13日	新グラウンド完成
11年	4月	12日	自校方式給食室完成
17年	4月	1日	特別支援教育体制推進事業により特別支援教育センター校に指定
18年	4月	1日	医療的ケアの導入と看護師の配置
19年	9月	3日	大型スクールバス導入
20年	10月	7日	創立50周年記念式典・記念公演
22年	4月	1日	高岡市立こまどり支援学校に校名変更 新校章制定
27年	2月	27日	体育館耐震補強工事完了
30年	10月	2日	創立60周年記念式典・記念公演